

海外旅行傷害保険

改定前	改定後								
<p>外国人研修生特約</p> <p>(略)</p> <p>第2章 疾病治療費用担保条項</p>	<p>外国人研修生特約</p> <p>(略)</p> <p>第2章 疾病治療費用担保条項</p>								
<p>第1条 (保険金を支払う場合)</p> <p>(1) 当社は、被保険者が下表のいずれかに該当した場合は、(2)に掲げる金額を、この担保条項、第6章基本条項および普通約款の規定に従い、疾病治療費用保険金として被保険者に支払います。ただし、治療を開始した日(*1)からその日を含めて180日以内に必要とした費用に限りです。</p>	<p>第1条 (保険金を支払う場合)</p> <p>(1) 当社は、被保険者が下表のいずれかに該当した場合は、(2)に掲げる金額を、この担保条項、第6章基本条項および普通約款の規定に従い、疾病治療費用保険金として被保険者に支払います。ただし、治療を開始した日(*1)からその日を含めて180日以内に必要とした費用に限りです。</p>								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center; vertical-align: top;">①</td> <td style="padding: 5px;">次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後48時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後48時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りです。</td> </tr> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center; vertical-align: top;">②</td> <td style="padding: 5px;">責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条(定義等)に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて14日を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症</td> </tr> </table>	①	次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後48時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後48時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りです。	②	責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条(定義等)に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて14日を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center; vertical-align: top;">①</td> <td style="padding: 5px;">次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後48時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後48時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りです。</td> </tr> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center; vertical-align: top;">②</td> <td style="padding: 5px;">責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条(定義等)に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて14日を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症 オ. 指定感染症(*4)</td> </tr> </table>	①	次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後48時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後48時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りです。	②	責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条(定義等)に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて14日を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症 オ. 指定感染症(*4)
①	次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後48時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後48時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りです。								
②	責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条(定義等)に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて14日を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症								
①	次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後48時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後48時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りです。								
②	責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条(定義等)に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて14日を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症 オ. 指定感染症(*4)								
<p>(2) (1)にいう「(2)に掲げる金額」とは、下表に掲げる金額をいいます。ただし、社会通念上妥当な金額であり、かつ、(1)の表の①または②の疾病の発病と同等のその他の疾病の発病に対して通常負担する金額相当額とします。また、この保険契約を締結していなければ生じなかった金額を除きます。</p>	<p>(2) (1)にいう「(2)に掲げる金額」とは、下表に掲げる金額をいいます。ただし、社会通念上妥当な金額であり、かつ、(1)の表の①または②の疾病の発病と同等のその他の疾病の発病に対して通常負担する金額相当額とします。また、この保険契約を締結していなければ生じなかった金額を除きます。</p>								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center; vertical-align: top;">①</td> <td style="padding: 5px;">次に掲げる費用のうち被保険者が治療のため現実に支出した金額 ア. 医師の診察費、処置費および手術費 イ. 医師の処置または処方による薬剤費、治療材料費および医療器具使用</td> </tr> </table>	①	次に掲げる費用のうち被保険者が治療のため現実に支出した金額 ア. 医師の診察費、処置費および手術費 イ. 医師の処置または処方による薬剤費、治療材料費および医療器具使用	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center; vertical-align: top;">①</td> <td style="padding: 5px;">次に掲げる費用のうち被保険者が治療のため現実に支出した金額 ア. 医師の診察費、処置費および手術費 イ. 医師の処置または処方による薬剤費、治療材料費および医療器具使用</td> </tr> </table>	①	次に掲げる費用のうち被保険者が治療のため現実に支出した金額 ア. 医師の診察費、処置費および手術費 イ. 医師の処置または処方による薬剤費、治療材料費および医療器具使用				
①	次に掲げる費用のうち被保険者が治療のため現実に支出した金額 ア. 医師の診察費、処置費および手術費 イ. 医師の処置または処方による薬剤費、治療材料費および医療器具使用								
①	次に掲げる費用のうち被保険者が治療のため現実に支出した金額 ア. 医師の診察費、処置費および手術費 イ. 医師の処置または処方による薬剤費、治療材料費および医療器具使用								

海外旅行傷害保険

改定前		改定後	
	<p>料</p> <p>ウ. X線検査費、諸検査費および手術室費</p> <p>エ. 職業看護師(*4)費。ただし、謝金および礼金は含みません。</p> <p>オ. 病院または診療所へ入院した場合の入院費</p> <p>カ. 救急措置として被保険者を病院または診療所に移送するための緊急移送費</p> <p>キ. 病院もしくは診療所に専門の医師がいないことまたはその病院もしくは診療所での治療が困難なことにより、他の病院または診療所へ移転するための移転費。ただし、被保険者の居住地の病院または診療所へ移転した場合には、被保険者が払戻しを受けた帰国のための運賃または被保険者が負担することを予定していた帰国のための運賃はこの費用の額から控除します。</p>		<p>料</p> <p>ウ. X線検査費、諸検査費および手術室費</p> <p>エ. 職業看護師(*5)費。ただし、謝金および礼金は含みません。</p> <p>オ. 病院または診療所へ入院した場合の入院費</p> <p>カ. 救急措置として被保険者を病院または診療所に移送するための緊急移送費</p> <p>キ. 病院もしくは診療所に専門の医師がいないことまたはその病院もしくは診療所での治療が困難なことにより、他の病院または診療所へ移転するための移転費。ただし、被保険者の居住地の病院または診療所へ移転した場合には、被保険者が払戻しを受けた帰国のための運賃または被保険者が負担することを予定していた帰国のための運賃はこの費用の額から控除します。</p>
②	<p>次に掲げる費用のうち被保険者が現実に支出した金額。ただし、1疾病(*5)について10万円を限度とします。</p> <p>ア. 被保険者の入院により必要となった次に掲げる費用</p> <p>(ア)入院のための交通費</p> <p>(イ)治療のために必要な通訳雇入費</p> <p>(ウ)国際電話料等通信費</p> <p>(エ)入院に必要な身の回り品購入費(*6)</p> <p>イ. 被保険者の通院のための交通費</p>	②	<p>次に掲げる費用のうち被保険者が現実に支出した金額。ただし、1疾病(*6)について10万円を限度とします。</p> <p>ア. 被保険者の入院により必要となった次に掲げる費用</p> <p>(ア)入院のための交通費</p> <p>(イ)治療のために必要な通訳雇入費</p> <p>(ウ)国際電話料等通信費</p> <p>(エ)入院に必要な身の回り品購入費(*7)</p> <p>イ. 被保険者の通院のための交通費</p>
	<p>(3) (1)の、疾病の原因の発生時期、発病の時期、発病の認定、治療を開始した時期等は、医師の診断によります。</p> <p>(4) (1)の規定にかかわらず、当会社は、下表に掲げる疾病の治療に必要とした費用に対しては、疾病治療費用保険金を支払いません。</p>		<p>(3) (1)の、疾病の原因の発生時期、発病の時期、発病の認定、治療を開始した時期等は、医師の診断によります。</p> <p>(4) (1)の規定にかかわらず、当会社は、下表に掲げる疾病の治療に必要とした費用に対しては、疾病治療費用保険金を支払いません。</p>
①	当会社が第1章傷害担保条項により保険金を支払うべき傷害に起因する疾病	①	当会社が第1章傷害担保条項により保険金を支払うべき傷害に起因する疾病
②	妊娠、出産、早産または流産に起因する疾病および不妊症	②	妊娠、出産、早産または流産に起因する疾病および不妊症
③	歯科疾病	③	歯科疾病
④	被保険者が山岳登山(*7)を行っている間に発病した高山病	④	被保険者が山岳登山(*8)を行っている間に発病した高山病
	<p>(5) (1)の疾病治療費用保険金の支払は、1疾病(*5)について疾病治療費用保険金額(*8)をもって限度とします。</p> <p>(6) 他の保険契約等(*9)がある場合において、支払責任額(*10)の合計額が(1)の費用の額を超えるときは、当会社は、下表に掲げる額を疾病治療費用保険金として支払います。</p>		<p>(5) (1)の疾病治療費用保険金の支払は、1疾病(*6)について疾病治療費用保険金額(*9)をもって限度とします。</p> <p>(6) 他の保険契約等(*10)がある場合において、支払責任額(*11)の合計額が(1)の費用の額を超えるときは、当会社は、下表に掲げる額を疾病治療費用保険金として支払います。</p>

海外旅行傷害保険

改定前		改定後	
①	他の保険契約等(*9)から保険金または共済金が支払われていない場合	この保険契約の支払責任額(*10)	①
②	他の保険契約等(*9)から保険金または共済金が支払われた場合	(1)の費用の額から、他の保険契約等(*9)から支払われた保険金または共済金の合計額を差し引いた残額。ただし、この保険契約の支払責任額(*10)を限度とします。	②
<p>(7) (1)の規定にかかわらず、被保険者が当会社と提携する機関から(2)の表に掲げる費用の請求を受けた場合において、被保険者がその機関への疾病治療費用保険金の支払を当会社に求めたときは、当会社は、被保険者がその費用を支出したものとみなして(1)から(6)までの規定により算出した疾病治療費用保険金をその機関に支払います。</p> <p>(*1) 合併症および続発症の場合はその原因となった疾病の治療を開始した日をいいます。</p> <p>(*2) 妊娠、出産、早産、流産および不妊症を含みません。以下この特約において同様とします。</p> <p>(*3) 被保険者が治療を開始した時点において規定する感染症をいいます。</p> <p>(*4) 日本国外において被保険者の治療に際し、医師が付添を必要と認めた場合の職務として付添を行う者を含みます。</p> <p>(*5) 合併症および続発症を含みます。</p> <p>(*6) 3万円を限度とします。</p> <p>(*7) ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するものをいいます。以下この特約において同様とします。</p> <p>(*8) 保険証券記載の疾病治療費用保険金額をいいます。</p> <p>(*9) (1)の費用に対して保険金または共済金を支払うべき他の保険契約または共済契約をいいます。</p> <p>(*10) 他の保険契約等(*9)がないものとして算出した支払うべき保険金の額をいいます。</p>		<p>(7) (1)の規定にかかわらず、被保険者が当会社と提携する機関から(2)の表に掲げる費用の請求を受けた場合において、被保険者がその機関への疾病治療費用保険金の支払を当会社に求めたときは、当会社は、被保険者がその費用を支出したものとみなして(1)から(6)までの規定により算出した疾病治療費用保険金をその機関に支払います。</p> <p>(*1) 合併症および続発症の場合はその原因となった疾病の治療を開始した日をいいます。</p> <p>(*2) 妊娠、出産、早産、流産および不妊症を含みません。以下この特約において同様とします。</p> <p>(*3) 被保険者が治療を開始した時点において規定する感染症をいいます。</p> <p><u>(*4) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第7条第1項の規定に基づき一類感染症、二類感染症または三類感染症に適用される規定と同程度の規定を準用することが政令で定められている場合に限り、適用されます。</u></p> <p>(*5) 日本国外において被保険者の治療に際し、医師が付添を必要と認めた場合の職務として付添を行う者を含みます。</p> <p>(*6) 合併症および続発症を含みます。</p> <p>(*7) 3万円を限度とします。</p> <p>(*8) ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するものをいいます。以下この特約において同様とします。</p> <p>(*9) 保険証券記載の疾病治療費用保険金額をいいます。</p> <p>(*10) (1)の費用に対して保険金または共済金を支払うべき他の保険契約または共済契約をいいます。</p> <p>(*11) 他の保険契約等(*10)がないものとして算出した支払うべき保険金の額をいいます。</p>	

海外旅行傷害保険

改定前		改定後															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 30px; text-align: center;">①</td><td>当社が第1章傷害担保条項により保険金を支払うべき傷害に起因する疾病</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">②</td><td>妊娠、出産、早産または流産に起因する疾病および不妊症</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">③</td><td>歯科疾病</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">④</td><td>被保険者が山岳登山を行っている間に発病した高山病</td></tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">(*1) 被保険者が死亡した時点において規定する感染症をいいます。</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">(略)</p>	①	当社が第1章傷害担保条項により保険金を支払うべき傷害に起因する疾病	②	妊娠、出産、早産または流産に起因する疾病および不妊症	③	歯科疾病	④	被保険者が山岳登山を行っている間に発病した高山病	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 30px; text-align: center;">①</td><td>当社が第1章傷害担保条項により保険金を支払うべき傷害に起因する疾病</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">②</td><td>妊娠、出産、早産または流産に起因する疾病および不妊症</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">③</td><td>歯科疾病</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">④</td><td>被保険者が山岳登山を行っている間に発病した高山病</td></tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">(*1) 被保険者が死亡した時点において規定する感染症をいいます。 (*2) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第7条第1項の規定に基づき一類感染症、二類感染症または三類感染症に適用される規定と同程度の規定を準用することが政令で定められている場合に限りま</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">(略)</p>	①	当社が第1章傷害担保条項により保険金を支払うべき傷害に起因する疾病	②	妊娠、出産、早産または流産に起因する疾病および不妊症	③	歯科疾病	④	被保険者が山岳登山を行っている間に発病した高山病
①	当社が第1章傷害担保条項により保険金を支払うべき傷害に起因する疾病																
②	妊娠、出産、早産または流産に起因する疾病および不妊症																
③	歯科疾病																
④	被保険者が山岳登山を行っている間に発病した高山病																
①	当社が第1章傷害担保条項により保険金を支払うべき傷害に起因する疾病																
②	妊娠、出産、早産または流産に起因する疾病および不妊症																
③	歯科疾病																
④	被保険者が山岳登山を行っている間に発病した高山病																
<p>クレジットカード用海外旅行傷害保険特約</p> <p>(略)</p> <p>第2章 疾病治療費用担保条項</p>	<p>クレジットカード用海外旅行傷害保険特約</p> <p>(略)</p> <p>第2章 疾病治療費用担保条項</p>																
<p>第1条（保険金を支払う場合）</p> <p>(1) 当社は、被保険者が下表のいずれかに該当した場合は、(2)に掲げる金額を、この担保条項、第6章基本条項および普通約款の規定に従い、疾病治療費用保険金として被保険者に支払います。ただし、治療を開始した日(*1)からその日を含めて180日以内に必要とした費用に限りま</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center;">①</td> <td>次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後48時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後48時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りま</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td>責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条（定義等）に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて14日を経過するまでに治療を開始した場合</td> </tr> </table>	①	次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後48時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後48時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りま	②	責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条（定義等）に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて14日を経過するまでに治療を開始した場合	<p>第1条（保険金を支払う場合）</p> <p>(1) 当社は、被保険者が下表のいずれかに該当した場合は、(2)に掲げる金額を、この担保条項、第6章基本条項および普通約款の規定に従い、疾病治療費用保険金として被保険者に支払います。ただし、治療を開始した日(*1)からその日を含めて180日以内に必要とした費用に限りま</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center;">①</td> <td>次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後48時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後48時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りま</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td>責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条（定義等）に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて14日を経過するまでに治療を開始した場合</td> </tr> </table>	①	次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後48時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後48時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りま	②	責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条（定義等）に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて14日を経過するまでに治療を開始した場合								
①	次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後48時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後48時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りま																
②	責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条（定義等）に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて14日を経過するまでに治療を開始した場合																
①	次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後48時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後48時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りま																
②	責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条（定義等）に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて14日を経過するまでに治療を開始した場合																

海外旅行傷害保険

改定前		改定後	
	<ul style="list-style-type: none"> ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症 		<ul style="list-style-type: none"> ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症 <li style="color: red;">オ. 指定感染症(*4)
<p>(2) (1)にいう「(2)に掲げる金額」とは、下表に掲げる金額をいいます。ただし、社会通念上妥当な金額であり、かつ、(1)の表の①または②の疾病の発病と同等のその他の疾病の発病に対して通常負担する金額相当額とします。また、この保険契約を締結していなければ生じなかった金額を除きます。</p>		<p>(2) (1)にいう「(2)に掲げる金額」とは、下表に掲げる金額をいいます。ただし、社会通念上妥当な金額であり、かつ、(1)の表の①または②の疾病の発病と同等のその他の疾病の発病に対して通常負担する金額相当額とします。また、この保険契約を締結していなければ生じなかった金額を除きます。</p>	
①	<p>次に掲げる費用のうち被保険者が治療のため現実に支出した金額</p> <ul style="list-style-type: none"> ア. 医師の診察費、処置費および手術費 イ. 医師の処置または処方による薬剤費、治療材料費および医療器具使用料 ウ. X線検査費、諸検査費および手術室費 エ. 職業看護師(*4)費。ただし謝金および礼金は含みません。 オ. 病院または診療所へ入院した場合の入院費 カ. 入院による治療を必要とする場合において、病院もしくは診療所が遠隔地にあることまたは病院もしくは診療所のベッドが空いていないこと等やむを得ない事情により、宿泊施設の室内で医師の治療を受けたとき(*5)の宿泊施設の客室料 キ. 入院による治療は必要としない場合において、治療を受け、医師の指示により宿泊施設で静養するときの宿泊施設の客室料。ただし、被保険者が払戻しを受けた金額または被保険者が負担することを予定していた金額はこの費用の額から控除します。 ク. 救急措置として被保険者を病院または診療所に移送するための緊急移送費 ケ. 入院または通院のための交通費 コ. 病院もしくは診療所に専門の医師がいないことまたはその病院もしくは診療所での治療が困難なことにより、他の病院または診療所へ移転するための移転費(*6)。ただし、日本国内(*7)の病院または診療所へ移転した場合には、被保険者が払戻しを受けた帰国のための運賃または被保険者が負担することを予定していた帰国のための運賃はこの費用の額から控除します。 サ. 治療のために必要な通訳雇入費 	①	<p>次に掲げる費用のうち被保険者が治療のため現実に支出した金額</p> <ul style="list-style-type: none"> ア. 医師の診察費、処置費および手術費 イ. 医師の処置または処方による薬剤費、治療材料費および医療器具使用料 ウ. X線検査費、諸検査費および手術室費 エ. 職業看護師(*5)費。ただし謝金および礼金は含みません。 オ. 病院または診療所へ入院した場合の入院費 カ. 入院による治療を必要とする場合において、病院もしくは診療所が遠隔地にあることまたは病院もしくは診療所のベッドが空いていないこと等やむを得ない事情により、宿泊施設の室内で医師の治療を受けたとき(*6)の宿泊施設の客室料 キ. 入院による治療は必要としない場合において、治療を受け、医師の指示により宿泊施設で静養するときの宿泊施設の客室料。ただし、被保険者が払戻しを受けた金額または被保険者が負担することを予定していた金額はこの費用の額から控除します。 ク. 救急措置として被保険者を病院または診療所に移送するための緊急移送費 ケ. 入院または通院のための交通費 コ. 病院もしくは診療所に専門の医師がいないことまたはその病院もしくは診療所での治療が困難なことにより、他の病院または診療所へ移転するための移転費(*7)。ただし、日本国内(*8)の病院または診療所へ移転した場合には、被保険者が払戻しを受けた帰国のための運賃または被保険者が負担することを予定していた帰国のための運賃はこの費用の額から控除します。 サ. 治療のために必要な通訳雇入費

海外旅行傷害保険

改定前		改定後		
②	被保険者の入院により必要となった次に掲げる費用のうち被保険者が現実に支出した金額。ただし、1疾病(*8)について20万円を限度とします。 ア. 国際電話料等通信費 イ. 入院に必要な身の回り品購入費(*9)	②	被保険者の入院により必要となった次に掲げる費用のうち被保険者が現実に支出した金額。ただし、1疾病(*9)について20万円を限度とします。 ア. 国際電話料等通信費 イ. 入院に必要な身の回り品購入費(*10)	
③	被保険者が治療のために入院し、その結果、当初の旅行行程を離脱した場合において、次に掲げるいずれかの費用のうち被保険者が現実に支出した金額。ただし、被保険者が払戻しを受けた金額または被保険者が負担することを予定していた金額については費用の額から控除します。 ア. 被保険者が当初の旅行行程に復帰するための交通費および宿泊費 イ. 被保険者が直接帰国するための交通費および宿泊費	③	被保険者が治療のために入院し、その結果、当初の旅行行程を離脱した場合において、次に掲げるいずれかの費用のうち被保険者が現実に支出した金額。ただし、被保険者が払戻しを受けた金額または被保険者が負担することを予定していた金額については費用の額から控除します。 ア. 被保険者が当初の旅行行程に復帰するための交通費および宿泊費 イ. 被保険者が直接帰国するための交通費および宿泊費	
<p>(3) (1)の、疾病の原因の発生時期、発病の時期、発病の認定、治療を開始した時期等は、医師の診断によります。</p> <p>(4) (1)の規定にかかわらず、当社は、下表のいずれかに掲げる疾病の治療に必要とした費用に対しては、疾病治療費用保険金を支払いません。</p>		<p>(3) (1)の、疾病の原因の発生時期、発病の時期、発病の認定、治療を開始した時期等は、医師の診断によります。</p> <p>(4) (1)の規定にかかわらず、当社は、下表のいずれかに掲げる疾病の治療に必要とした費用に対しては、疾病治療費用保険金を支払いません。</p>		
①	当社が第1章傷害担保条項により保険金を支払うべき傷害に起因する疾病	①	当社が第1章傷害担保条項により保険金を支払うべき傷害に起因する疾病	
②	妊娠、出産、早産または流産に起因する疾病および不妊症	②	妊娠、出産、早産または流産に起因する疾病および不妊症	
③	歯科疾病	③	歯科疾病	
④	被保険者が山岳登山(*10)を行っている間に発病した高山病	④	被保険者が山岳登山(*11)を行っている間に発病した高山病	
<p>(5) (1)の疾病治療費用保険金の支払は、1疾病(*8)について保険証券記載の疾病治療費用保険金額をもって限度とします。</p> <p>(6) 他の保険契約等(*11)がある場合において、支払責任額(*12)の合計額が(1)の費用の額を超えるときは、当社は、下表に掲げる額を疾病治療費用保険金として支払います。</p>		<p>(5) (1)の疾病治療費用保険金の支払は、1疾病(*9)について保険証券記載の疾病治療費用保険金額をもって限度とします。</p> <p>(6) 他の保険契約等(*12)がある場合において、支払責任額(*13)の合計額が(1)の費用の額を超えるときは、当社は、下表に掲げる額を疾病治療費用保険金として支払います。</p>		
①	他の保険契約等(*11)から保険金または共済金が支払われていない場合	①	他の保険契約等(*12)から保険金または共済金が支払われていない場合	この保険契約の支払責任額(*13)
②	他の保険契約等(*11)から保険金または共済金が支払われた場合	②	他の保険契約等(*12)から保険金または共済金が支払われた場合	(1)の費用の額から、他の保険契約等(*12)から支払われた保険金または共済金の合計額を差し引いた残額。ただし、この保険契約の支払責任額(*13)を限度とします。
<p>(7) (1)の規定にかかわらず、被保険者が当社と提携する機関から(2)の表の①または③に掲げる費用の請求を受けた場合において、被保険者がその機関への</p>		<p>(7) (1)の規定にかかわらず、被保険者が当社と提携する機関から(2)の表の①または③に掲げる費用の請求を受けた場合において、被保険者がその機関への</p>		

海外旅行傷害保険

改定前	改定後
<p>疾病治療費用保険金の支払を当会社に求めたときは、当会社は、被保険者がその費用を支出したものとみなして(1)から(6)までの規定により算出した疾病治療費用保険金をその機関に支払います。</p> <p>(8) (2)の規定にかかわらず、被保険者が(1)の表のいずれかに該当し、その直接の結果として、日本国外においてカイロプラクティック (Chiropractic)、鍼 (Acupuncture) または灸 (Moxa cautery) の施術者(*13)による治療を必要としたことにより、被保険者がその施術のため現実に支出した(2)の金額については、疾病治療費用保険金を支払いません。</p> <p>(9) (2)の規定にかかわらず、被保険者が(1)の表のいずれかに該当し、その直接の結果として、視力の屈折矯正を目的として、現実に支出した(2)の金額については、疾病治療費用保険金を支払いません。</p> <p>(*1) 合併症および続発症の場合はその原因となった疾病の治療を開始した日をいいます。</p> <p>(*2) 妊娠、出産、早産、流産および不妊症を含みません。</p> <p>(*3) 被保険者が治療を開始した時点において規定する感染症をいいます。</p> <p>(*4) 日本国外において被保険者の治療に際し、医師が付添を必要と認めた場合の職務として付添を行う者を含みます。</p> <p>(*5) 医師の指示により宿泊施設で静養する場合を含みます。</p> <p>(*6) 治療のため医師または職業看護師が付添うことを必要とする場合には、その費用を含みます。</p> <p>(*7) 被保険者が日本国外に居住している場合には、その居住地をいいます。</p> <p>(*8) 合併症および続発症を含みます。</p> <p>(*9) 5万円を限度とします。</p> <p>(*10) ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するものをいいます。</p> <p>(*11) (1)の費用に対して保険金または共済金を支払うべき他の保険契約または共済契約をいいます。</p> <p>(*12) 他の保険契約等(*11)がないものとして算出した支払うべき保険金の額をいいます。</p> <p>(*13) 治療を必要とした地の法令に定められた資格を持つ者または法令により治</p>	<p>疾病治療費用保険金の支払を当会社に求めたときは、当会社は、被保険者がその費用を支出したものとみなして(1)から(6)までの規定により算出した疾病治療費用保険金をその機関に支払います。</p> <p>(8) (2)の規定にかかわらず、被保険者が(1)の表のいずれかに該当し、その直接の結果として、日本国外においてカイロプラクティック (Chiropractic)、鍼 (Acupuncture) または灸 (Moxa cautery) の施術者(*14)による治療を必要としたことにより、被保険者がその施術のため現実に支出した(2)の金額については、疾病治療費用保険金を支払いません。</p> <p>(9) (2)の規定にかかわらず、被保険者が(1)の表のいずれかに該当し、その直接の結果として、視力の屈折矯正を目的として、現実に支出した(2)の金額については、疾病治療費用保険金を支払いません。</p> <p>(*1) 合併症および続発症の場合はその原因となった疾病の治療を開始した日をいいます。</p> <p>(*2) 妊娠、出産、早産、流産および不妊症を含みません。</p> <p>(*3) 被保険者が治療を開始した時点において規定する感染症をいいます。</p> <p><u>(*4) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第7条第1項の規定に基づき一類感染症、二類感染症または三類感染症に適用される規定と同程度の規定を準用することが政令で定められている場合に限り。</u></p> <p>(*5) 日本国外において被保険者の治療に際し、医師が付添を必要と認めた場合の職務として付添を行う者を含みます。</p> <p>(*6) 医師の指示により宿泊施設で静養する場合を含みます。</p> <p>(*7) 治療のため医師または職業看護師が付添うことを必要とする場合には、その費用を含みます。</p> <p>(*8) 被保険者が日本国外に居住している場合には、その居住地をいいます。</p> <p>(*9) 合併症および続発症を含みます。</p> <p>(*10) 5万円を限度とします。</p> <p>(*11) ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するものをいいます。</p> <p>(*12) (1)の費用に対して保険金または共済金を支払うべき他の保険契約または共済契約をいいます。</p> <p>(*13) 他の保険契約等(*12)がないものとして算出した支払うべき保険金の額をいいます。</p> <p>(*14) 治療を必要とした地の法令に定められた資格を持つ者または法令により</p>

海外旅行傷害保険

改定前	改定後								
<p>療を行うことを許された者をいいます。</p> <p>(略)</p>	<p>治療を行うことを許された者をいいます。</p> <p>(略)</p>								
<p>賠償責任危険担保条項、携行品損害担保条項、疾病治療費用担保条項および海外旅行保険特約に関する特約 (クレジットカード用海外旅行傷害保険特約用)</p> <p>(略)</p>	<p>賠償責任危険担保条項、携行品損害担保条項、疾病治療費用担保条項および海外旅行保険特約に関する特約 (クレジットカード用海外旅行傷害保険特約用)</p> <p>(略)</p>								
<p>第4条（疾病治療費用担保条項の当会社の支払責任の変更） 当社は、カード特約第2章疾病治療費用担保条項が付帯されている場合には、同担保条項およびカード特約第6章基本条項を次のとおり読み替えて適用します。</p> <p>(1) カード特約第2章第1条（保険金を支払う場合）(1)の表を下表のとおり読み替えて適用します。</p> <p>「</p>	<p>第4条（疾病治療費用担保条項の当会社の支払責任の変更） 当社は、カード特約第2章疾病治療費用担保条項が付帯されている場合には、同担保条項およびカード特約第6章基本条項を次のとおり読み替えて適用します。</p> <p>(1) カード特約第2章第1条（保険金を支払う場合）(1)の表を下表のとおり読み替えて適用します。</p> <p>「</p>								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">①</td> <td>次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後72時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後72時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りま。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td>責任期間中に感染した責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条（定義等）に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて30日を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症</td> </tr> </table>	①	次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後72時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後72時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りま。	②	責任期間中に感染した責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条（定義等）に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて30日を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">①</td> <td>次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後72時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後72時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りま。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td>責任期間中に感染した責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条（定義等）に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて30日を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症 オ. <u>指定感染症(*4)</u></td> </tr> </table>	①	次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後72時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後72時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りま。	②	責任期間中に感染した責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条（定義等）に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて30日を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症 オ. <u>指定感染症(*4)</u>
①	次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後72時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後72時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りま。								
②	責任期間中に感染した責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条（定義等）に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて30日を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症								
①	次に掲げる疾病(*2)のいずれかを直接の原因として責任期間終了後72時間を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 責任期間中に発病した疾病 イ. 責任期間終了後72時間以内に発病した疾病。ただし、その疾病の原因が責任期間中に発生したものに限りま。								
②	責任期間中に感染した責任期間中に感染した感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条（定義等）に規定する次のいずれかの感染症(*3)を直接の原因として責任期間が終了した日からその日を含めて30日を経過するまでに治療を開始した場合 ア. 一類感染症 イ. 二類感染症 ウ. 三類感染症 エ. 四類感染症 オ. <u>指定感染症(*4)</u>								

海外旅行傷害保険

改定前	改定後				
<p style="text-align: right;">」</p> <p>(2) カード特約第6章第10条(保険金の請求)(2)の④の表のア.を下表のとおり読み替えて適用します。</p> <p>「</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">ア.</td> <td style="padding: 2px;">責任期間中または責任期間終了後72時間以内に発病し、かつ、責任期間終了後72時間を経過するまでに治療を開始したことおよび疾病の程度を証明する医師の診断書</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">」</p>	ア.	責任期間中または責任期間終了後72時間以内に発病し、かつ、責任期間終了後72時間を経過するまでに治療を開始したことおよび疾病の程度を証明する医師の診断書	<p style="text-align: right;">」</p> <p>(2) カード特約第6章第10条(保険金の請求)(2)の④の表のア.を下表のとおり読み替えて適用します。</p> <p>「</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">ア.</td> <td style="padding: 2px;">責任期間中または責任期間終了後72時間以内に発病し、かつ、責任期間終了後72時間を経過するまでに治療を開始したことおよび疾病の程度を証明する医師の診断書</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">」</p>	ア.	責任期間中または責任期間終了後72時間以内に発病し、かつ、責任期間終了後72時間を経過するまでに治療を開始したことおよび疾病の程度を証明する医師の診断書
ア.	責任期間中または責任期間終了後72時間以内に発病し、かつ、責任期間終了後72時間を経過するまでに治療を開始したことおよび疾病の程度を証明する医師の診断書				
ア.	責任期間中または責任期間終了後72時間以内に発病し、かつ、責任期間終了後72時間を経過するまでに治療を開始したことおよび疾病の程度を証明する医師の診断書				
(略)	(略)				